

## アンケートの内容（WEB サイトの内容）

### 1. 基本事項についての質問

Q1-1. 事業形態をお知らせください。

- 航空運送事業者（特定本邦航空運送事業者）
- 航空運送事業者（特定本邦航空運送事業者以外）
- 航空機使用事業者
- 官公庁
- 社用飛行
- 個人

※特定本邦航空運送事業者とは、客席数が100又は最大離陸重量が5万kgを超える航空機を使用して行う航空運送事業を営む事業者をいう

Q1-2. 操縦される航空機にVHF データリンク対応の通信装置（ACARS）は搭載されていますか。

- 搭載されている
- 搭載されていない
- 操縦する航空機によって異なる

### ATIS の利用実態に関する質問

（1） 利用実績について

Q2-1. ATIS 情報を利用したことがありますか？

- 利用しているまたは利用したことがある → 2.（2）へ進んでください
- 利用していない → 3.（1）へ進んでください

（2） 出発時の利用状況

Q2-2. 出発前、ATIS 情報をいつの段階で入手されますか？

- 出発空港の管制機関との通信設定直前
- 出発準備中のできるだけ早い段階
- 情報更新（定時）のタイミングで適宜
- その他

その他を選択された場合は下記に具体的にご記入ください。

--

Q2-3. その際、何を利用して ATIS 情報を入手されますか？

- VHF 放送を聴取する
- VHF データリンクで抽出する
- その他

その他を選択された場合は下記に具体的にご記入ください。

(3) 到着時の利用状況

Q2-4. 到着前、ATIS 情報をいつの段階で入手されますか？

- 到着空港の管制機関との通信設定直前
- 進入開始前のできるだけ早い段階
- 情報更新（定時）のタイミングで適宜
- その他

その他を選択された場合は下記に具体的にご記入ください。

Q2-5. その際、何を利用して ATIS 情報を入手されますか？

- VHF 放送を聴取する
- VHF データリンクで抽出する
- その他

その他を選択された場合は下記に具体的にご記入ください。

(4) 入手方法の代替手段

Q2-6. 何らかの理由で通常的手段による ATIS 情報の入手ができなかった場合、何を利用して情報を入手されますか？

ATIS の代替取得方法として主に考えられる方法をひとつ選択してください。

- VHF 放送を聴取する
- VHF データリンクで抽出する
- 管制官（ATC）へのリクエスト
- フライトサービスセンタ（FSC）へのリクエスト
- 自社への問い合わせ
- その他

その他を選択された場合は下記に具体的にご記入ください。

2. ATIS サービスの改善に関する質問

Q3-1. 既存の ATIS サービス提供空港について改善要望があれば、お知らせください。  
(自由記載)

Q3-2. ATIS が提供されていない既設の空港のうち、新たに ATIS の提供を求める空港があれば、空港名とその理由をお知らせ下さい。

(自由記載)

航空局では、2024 年頃から ATIS 情報を新たに Web サービスとして提供することとしています。さらに、Jeppesen などの企業とも連携し、EFB のアプリケーションからも抽出可能となるよう検討しています。(補足資料を参照下さい)

これらを踏まえ、以下の質問にお答えください。

Q. 3-3 上記 Q3-2 の空港でのサービス開始を検討するにあたり、あなたの考えに近いものを選択してください。

- 従来どおり、VHF 無線による放送と VHF データリンクによる情報の抽出を可能とするべき。
- VHF 無線による放送だけで構わない。(代替手段は ATC を含め確保されている。)
- VHF データリンクによる情報抽出だけで構わない。(代替手段は ATC を含め確保されている。)
- Web サービス提供が利用できるとなった場合は、web 提供を利用。
- その他 (自由記載)

Q3-3-1 携帯端末 (iPad) 等による web サービスの利用が可能となった場合の効果や課題について、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)

【効果/メリット】

- パイロットのワークロード軽減
- 通信経費などコストの削減
- 操縦及び管制通信への集中
- 特にない
- その他 (自由記入)

【課題/懸念事項】

- 駐機場などの空港内での電波強度に問題ないか
- 情報入手に特別な機器を導入する必要がある
- 到着時に情報入手できない (wifi 設備のない機材)
- その他 (自由記入)

Q3-3-2 将来仮に VHF 放送での情報提供がされなくなった場合、どのような課題があると思われますか？(ただし、回答に当たっては、Web サービスによる情報提供や EFB のアプリケーションでの情報提供が実現できていることを前提として下さい。)(自由記入)